

(別 紙)

復興交付金事業計画

計画名称
十日町市復興交付金事業計画
計画策定主体
十日町市
計画期間
平成 24 年度から平成 32 年度
計画区域
十日町市松代地域、松之山地域
計画区域における震災による被害の状況
<p>平成 23 年 3 月 11 日(金)午後 2 時 46 分頃発生した、三陸沖を震源とする国内観測史上最大となるマグニチュード 9.0 の地震を端緒として、翌 3 月 12 日午前 3 時 59 分頃長野県北部と新潟県との県境付近を震源とするマグニチュード 6.7 の長野北部地震が発生し、本市において震度 6 弱を観測した。</p> <p>幸いにも奇跡的に死亡者は無かったが、住宅等の建物被害はもちろんのこと、道路、橋梁、上下水道、電気などのライフラインの寸断、小中学校などの公共施設や農地、農林業施設等に大きな被害に見舞われた。</p> <p>特に、震源地に近い市内の松代地域、松之山地域に被害が集中し、住宅被害は 752 棟が被害に遭い、この内 208 棟、約 3 割が半壊以上の被害となっている。また、一時、465 人の被災者が避難所に避難したが、道路などのライフラインの寸断などにより、被災者の状況確認及び救援物資搬送などに大きな支障が生じた。</p> <p>避難所においては、指定避難所である小中学校が被災したことにより、耐震化されていない地域の集会所などに避難所が変更となり、危険な状態の中で長期間の避難を余儀なくされた。自宅に帰れず、公営住宅などに応急的に住んでいる方が 23 世帯 50 人いた。(平成 24 年 4 月時点)</p> <p>水道の断水は、松代地域、松之山地域の約 94%が断水となり、長期間、被災地では大変不便な生活を強いられた。</p> <p>また、豪雪地帯の積雪期に発生した地震のため、発生当初の被害把握が困難な状況となったが、雪解けとともに被害の全容が確認され、農地、農林業関係施設に大きな被害があり、強い喪失感から離村の考えを表す住民も多く、地域集落の存亡の危機となっている。</p>

○ 長野北部地震による十日町市の被害状況

※ () 内の数値は、十日町市のうち松代地域・松之山地域の合計数値

1 人的被害

軽傷者 9人

2 建物被害

住家被害	全壊 31、大規模半壊 8、半壊 185、一部破損 1,100	計 1,324 棟
(住家被害	全壊 29、大規模半壊 8、半壊 171、一部破損 544	計 751 棟)
非住家その他	全壊 102、大規模半壊 17、半壊 135、一部破損 127	計 381 棟
(非住家その他	全壊 90、大規模半壊 17、半壊 118、一部破損 89	計 381 棟)
計	全壊 133、大規模半壊 25、半壊 320、一部破損 1,227	計 1,705 棟
(計	全壊 119、大規模半壊 25、半壊 289、一部破損 633	計 1,066 棟)

3 道路関係

国道 4路線 通行止め

県道 5路線 通行止め

市道 11路線 通行止め

林道 1路線 通行止め

道路被災箇所 34 か所 (31 か所)、河川被災箇所 1 か所 (1 か所)

4 上下水道関係

松代地域 給水人口の約 94%が断水

松之山地域 給水人口の約 83%が断水

水道被災箇所 182 か所 (182 か所)

松代地域及び松之山地域の下水道管渠において多大な被害が発生

下水道被災箇所 101 か所 (75 か所)

5 農林業施設関係

農地 290、農業用施設 185、林道 67 計 542 か所被災

(殆ど松代地域・松之山地域)

6 その他

観光施設 松代地域及び松之山地域を中心に多大な被害が発生

まつだい雪国農耕文化村センター、まつだい芝峠温泉雲海、松之山温泉

スキー場、松之山温泉センター、大巖寺高原キャンプ場など

教育関係施設 奴奈川小学校ほか殆どの小中学校が被災

7 避難所開設状況

市内 75 か所開設 避難者数 465 人 (465 人)

50 人 (H24. 4 月) が応急的に公営住宅に居住し、住宅再建を検討

